

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	424	子育て支援対策事業	会計	01	一般会計
基本施策	10	少子化に歯止めをかける	款	03	民生費
			項	04	児童福祉費
			目	01	児童福祉総務費
担当部課名	健康福祉部 少子化対策課		細目	103	子育て支援対策事業
作成者氏名	槇田 ちえみ	連絡先	22 - 9658	細々目	01
					子育て支援対策事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	市内の中学生・高校生・大学生・一般の方	成果(どうなるのか)	核家族・少子化が進むなかで、思春期から生命の尊さを理解し、小さな子どもたちに対するやさしさを感じる心を育む。また、子育て中で育児に不安を感じる親への支援を行うことで、子どもの健全な発達につながる。
	本年度事業内容	市内の中学生・高校生・大学生・一般の方を対象に、子育て支援・次世代に親となる意識体験のついで「ちょっと珍しい子育て支援セミナー」を開催した。		
	平成	年度	終了年度	平成
				年度
				根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳(千円)	事業費(B)	83	468	468
	委託料			
	報償費・報酬	20	220	220
	その他	63	248	248
合計(A+B)		803	1,188	1,188
財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源		803	1,188	1,188
上記 ~	に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
参加者数	人	57	80	80			
セミナー開催回数	回	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
参加者数	講演会に参加してもらった人数で意識啓発の指標となる。	人	57 目標 ()	80	80
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

地域全体で次世代育成支援を推進していく意識が高められるよう、勉強会やイベント等で様々なかたちで意識啓発を行う必要がある。
--

評価	必要性	4	安心して産み育てる家庭に対する環境作りを支援するため、今後も実施します。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		